

校長室だより

12月第2号
2024 最終号

今年も残りわずかとなって参りました。「師走」という言葉のとおり、12月は駆け足で1日1日が過ぎてきました。子供たちにとっては1年の節目の大切な毎日の学校生活です。各教室をまわると、2学期がんばったことの自己評価、感想等をクラスやグループの時間において、言葉にして、またiPadで友だちに発表し、そして友だちのがんばりを聞き評価し合うなど、コミュニケーションを図りながら、自己・他者理解の関係性を積み上げていました。この1年間、小学部、中学部、高等部の児童生徒それぞれの表現方法や言葉・思い、そして自己理解の方法や受け止め方は異なりますが、和附特に通う子供たち全員が大切に貴重な時間を本校で過ごすことができ、楽しく生き生きとした表情で発表する表情や私に話しかけてくれる姿に、私もここから評価してあげたいと思っています。

さて、2学期は学校行事が比較的多くありました。一人一人が自己目標をもって取り組んだ行事や、仲間を意識し助け合うことを目指した取組がありました。自立し社会で生きていくために、学部それぞれ、個人それぞれの児童生徒の成長した姿をいっぱいみることができて私自身、とても嬉しいです。

今年度、「ビューティフル・キャンパス・プロジェクト」と銘打って、自分たちが生活する学校はもちろん、少し離れた和歌山大学を美しく「癒しの空間」にすることを目指して、ほんの第一歩ではありますが取り組みました。12月の下旬は、自分たちの教室はもちろん、みんなで使う特別教室、ランチルーム、廊下、職員室の窓清掃まで、クラス活動や作業学習で「いつものように」大掃除する姿はとても頼もしく大切に素敵な姿、そして気持ちだと思います。また、高等部作業班の取組としてビルメンテナンス班が図書館やコンビニの窓清掃に、またエコファーム班が大学キャンパスの落ち葉清掃や教育学部正面玄関前の花壇に花の苗を植えて美しいキャンパスづくりに終日取り組みました。本校の高等部生徒はそれぞれ公共のバスを使って大学に集合し終日大学キャンパスでビューティフルキャンパスに励みましたがあっという間に時間が過ぎていきました。途中、学生さんや教育学部長、副学部長をはじめ多くの大学の先生方にお礼やねぎらいの言葉をいただき、作業終了後に本山学長から感謝状と記念品、お礼のお言葉を頂戴しました。生徒たちにとって大学に貢献した達成感と自己肯定感は宝物だと思います。大学の皆さんも賛同いただき、日頃から水やりや花の手入れにご協力いただいています。キャンパス美化活動に多くの学生さん、教職員の皆さんが意識をもってほしいとの「発信活動」でもあります。小学部児童の手作り絵画作品も花畑に飾って応援しています。ビルメンテナンス班には、窓清掃の出来栄に高い評価をいただき、再オファーも頂戴しました！

